

あなたも岩手県大船渡市で
漁師にチャレンジしてみませんか？

漁師への道

The Road to FISHERMAN

新規漁業就業ガイド

大船渡市漁業就業者確保育成協議会

漁 師 に な り た い

「海の見えるところに住みたい」、「釣りが好き」、「親が漁師」など、
さまざまなきっかけで漁業に興味を持っている方は多いと思います。

しかし、いざ「漁師になりたい」と思っても、
どのようにプロセスを踏んで行動したらいいのか
分からない人も多いはずです。

このガイドは、大船渡市で漁師を目指す方に
漁業就業への理解を深めていただくため作成しました。

Contents

漁 師 に な り た い	2
岩手県大船渡市ってどんなところ？	4
大船渡市の漁業の特色	5
漁 師 に な る た め に は ？	6
各種補助制度について	7
大船渡市の漁師が営んでいる漁業	8
先輩たちの声	12

岩手県大船渡市ってどんなところ？

大船渡市は、雄大なリアス海岸を代表する景勝地「基石海岸」や
三陸沿岸の最高峰「五葉山」などの美しい自然環境と、
寒暖の差の比較的少ない温暖な気候に恵まれ、
天然の良港とその自然が生み出す豊富な地域資源を生かし、
水産、港湾、観光等のまちとして発展してきました。



大船渡市魚市場(左下)と復興が進む中心市街地



市章

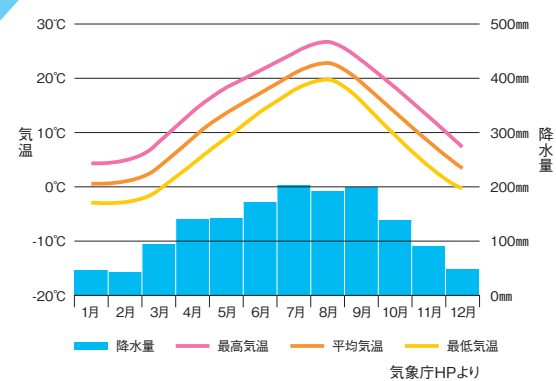
美しい山々と豊かな海に囲まれたまち、大船渡市。市章は、大船渡市の「大」の字を波と山でデザイン化しました。(昭和27年12月25日告示)

大船渡市プロフィール

- 位置／岩手県の南東端
北緯39度04分56秒
東経141度42分30秒
- 面積／322.50km²
- 人口／36,475人
(平成31年2月末日現在)
- 世帯数／14,959世帯
(平成31年2月末日現在)

※大船渡市HPより

	最高気温(℃)	平均気温(℃)	最低気温(℃)	降水量(mm)
1月	4.5	0.8	-2.7	49.9
2月	5	1.1	-2.6	45.5
3月	8.3	3.8	-0.4	98
4月	14.1	9.2	4.4	142.8
5月	18.5	13.7	9.2	145.2
6月	21.5	17.4	13.9	172.9
7月	24.8	21	18	204.2
8月	26.9	23	20	196.5
9月	23.6	19.5	16	201.8
10月	18.6	14	9.6	140.7
11月	13	8.3	3.8	94.1
12月	7.5	3.6	-0.1	50.4



気候

大船渡市の漁業の特色

岩手県南部に位置する当市の沿岸域は、起伏に富んだリアス海岸で、北から吉浜湾、越喜来湾、綾里湾、大船渡湾、門之浜湾と5つの湾が連続しており、天然資源に恵まれた好漁場となっています。

また、大船渡湾内に立地する大船渡市魚市場は、周辺海域はもとより沖合の三陸漁場で操業する漁船の水揚げ基地として機能し、四季折々の水産物が水揚げされます。

大船渡市では、比較的陸から近い漁場で定置網漁業や養殖漁業が営まれているほか、アワビ、ウニ等の磯資源に恵まれているため、採介藻漁業が盛んです。また、沖合ではサンマやイサダ、イカ等を漁獲する漁船漁業が営まれています。



漁師になるためには？



情報を集め、やりたい漁業をイメージする

自分が将来どのような漁業をやりたいのか明確にイメージすることが大切です。自身が漁業に興味を持った理由を切り口に、興味がある漁業について情報を集め、就業について検討しましょう。年に数回、新規就業者を受入れる意志のある漁業関係者が出展する全国漁業就業支援フェアが都市部で開催されていますので、参加されることをオススメします。

主な情報収集の方法

- 各漁業協同組合、(公財)岩手県漁業担い手育成基金、大船渡市漁業就業者確保育成協議会への問合せ(連絡先は7ページ参照)
- 漁業就業支援フェアへの参加(東京等で開催)



漁村生活や漁業体験を通じて、意志を固める

話を聞いただけではいろいろと不安があると思います。そのために漁村生活や漁業を体験してみることをオススメします。実際に体験することで、就業に対する気持ちを再確認しましょう。

漁業体験

体験希望がある場合は、大船渡市漁業就業者確保育成協議会へお問合せください。市内の漁業協同組合等に受入先の有無について、確認を行います。



受入先の漁業者のもとで、基本的な知識・技術を学ぶ

初めから自分で漁船を操り、漁をしてみたいという思いを抱いている方は多く見受けられます。ただし、漁師は、公共の海をフィールドにしているため、多くのルールの中で秩序を保ちつつ漁業を営んでいます。最初から一人でまったく漁業ができないということではありませんが、まずは長期研修制度等を活用するなど、受入先の漁師のもとで基本的な知識・技術を学びましょう。また、定住を前提に、その地域に引越し、地域に溶け込みましょう。現在、大船渡市でも空き家バンク制度により、住居の空き家に関する情報提供等を行っていますので、こうした情報を活用することをオススメします。

研修制度

いわて水産アカデミー
(平成31年度より開講)

基本的な知識・技術を身につけ、受入漁師のもとで実際に漁業に従事します。

- 研修期間：1年間
- 受講料：118,800円



すでに漁業を主として生計を立てている経営体のもとに就業(弟子入り)し、漁師としての仕事をスタート

定置網漁業や漁船漁業の乗組員として「雇用される」場合、必要最低限の準備(合羽や長靴など)をすることで就業が可能ですが、先輩漁師と同じように「経営する」ためには、その地域に居住し、実績を積み、漁協の組合員になる必要があります。まずは、すでに漁業を主として生計を立てている経営体のもとに就業(弟子入り)し、実績を積むことが一人前の漁師になる近道です。なお、養殖漁業は、ほとんどが家族経営であるため、新規就業者を従事者として受入れられる漁師は少ないです。そのため、補助金等を活用しながら弟子入りする方法もあります。



キャリアアップをはかる(独立自営の道へ)

将来、自分で船を持ち、自らが経営者として漁業を営みたいと思っている方は、「船舶免許」、「無線免許」など資格を取ってキャリアアップを図りましょう。また、実績を積み、漁業協同組合の組合員資格の取得に向けて、資格要件である年間漁業従事日数を確保しましょう。その後、独立するためには、漁船や漁具の確保が必要になるほか、所得が安定するまでの生活資金等も必要となります。



各種補助制度について

(1) 漁業就業希望者を対象とした補助制度

大船渡市意欲ある浜の担い手支援制度(市・漁協補助制度)

新規漁業就業者の確保・育成を図るため、大船渡市で新しく漁業を始める人を支援する制度です。

●新規就業型

- ・奨励支援：上限50万円(1回払い)
- ・資機材整備支援：上限50万円(1回払い)
- ・生活支援：上限年150万円(最長2年間)

●後継ぎ就業型

- ・奨励支援：上限50万円(1回払い)
- ・生活支援：上限年60万円(最長2年間)

次世代人材投資(準備型)制度(国補助制度)

漁業への就業に向け、いわて水産アカデミー等で必要な知識の習得等を行う若者に対して給付する制度です。(45歳未満が対象 最長1年間 月額12万5千円)

融資制度(沿岸漁業改善資金)(国補助制度)

漁業経営を開始するための漁船や漁具等の購入資金を無利子で融資する制度です。

(2) 雇用主等を対象とした補助制度

新規就業者確保・育成支援制度(国補助制度)

新規漁業希望者を受け入れる雇用主等に対して指導謝金を支援する制度です。
(雇用型：最長1年間 最大月額14万1千円 独立型：最長3年間 最大月額28万2千円)

漁業担い手確保支援制度(市補助制度)

漁業に携わる人材の確保を支援するため、漁業者が市外から漁業に従事する雇用者を確保するために行う宿舍整備及び家賃に対して支援する制度です。

●宿舍整備

- ・新築、増築、購入(新築)補助率：事業費の1/2(上限額2,000万円) ※ただし、新規雇用者1人あたり200万円以内
- ・改修、購入(中古)補助率：事業費の1/2(上限額1,000万円) ※ただし、新規雇用者1人あたり100万円以内

●家賃補助

- ・宿舍の借上げ補助率：事業費の1/2(上限額240万円)
※ただし、新規雇用者1人あたり月額4万円以内 ※予算の状況により、支援できない場合があります。

補助制度に係る関係連絡先

●国補助制度

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金／TEL:019-626-3063

●市・漁協補助制度

大船渡市漁業就業者確保育成協議会

(事務局 大船渡市水産課)／TEL:0192-27-3111

大船渡市漁業協同組合／TEL:0192-27-3133 越喜来漁業協同組合／TEL:0192-44-2135

綾里漁業協同組合／TEL:0192-42-2151 吉浜漁業協同組合／TEL:0192-45-2151

大船渡市の漁師が営んでいる漁業

漁師の働き方や生活スタイルは、港から近い場所で日帰り操業する漁業もあれば、魚の群れに合わせ出漁する漁業もあるためさまざまです。
ここでは、大船渡市の漁師が営んでいる漁業の一部を紹介します。



1 定置網漁業

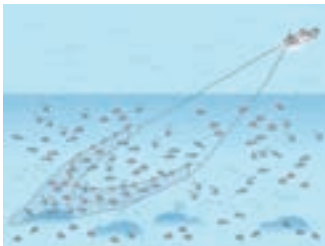
定置網漁業とは、漁港から30分～1時間程度場所に網を設置し、魚を漁獲する漁法です。
獲れる魚の種類は季節によって様々で、大船渡市の定置網にはブリ、イワシ、サバ、マグロ、サケ、イカなどをはじめ多くの魚が入ります。
1日の流れは、朝方に出港し、漁場に到着後、網起こし・選別を行い、市場に水揚げします。
その他に網の補修作業等も行います。



主な就業形態	操業パターン	漁期
乗組員として雇用 ※漁業協同組合や漁業法人が経営しています。	日帰り	4～1月

3 イサダ船曳網漁業

イサダ船曳網漁業とは、イサダ(オキアミの一種)の群れに目合いの小さな網を投入し、網に入ったイサダを海水ごと汲み上げ漁獲する漁法です。
岩手県はイサダの水揚げ量が日本一で、大船渡市は県内最大の水揚げ高を誇っています。イサダは、これまで主に釣りの撒き餌や養殖魚の餌として使用されていましたが、エビに似た風味があることから近年は食用としての需要も高まり徐々に利用が広がっています。



主な就業形態	操業パターン	漁期
乗組員として雇用 ※個人経営者が経営しています。	サンマやイカに比べ、漁場が近くに形成されるため、日帰り操業が多いです。	2～5月

2 サンマ棒受網漁業

サンマ棒受網漁業とは、サンマが光に集まる習性をうまく利用して、片舷から海中に張り出した網を素早く引き上げる漁法で、日没から夜明けにかけて操業します。
大船渡市は、本州一の水揚げを誇り、サンマにちなんだイベントも数多く行われており、秋の味覚として親しまれています。



主な就業形態	操業パターン	漁期
乗組員として雇用 ※漁業法人や個人経営者が経営しています。	漁場に合わせ、北海道や東北の漁港に水揚げを行うため、日帰り操業する場合もあれば、長期で出漁する場合もあります。	8～11月

4 イカ釣り漁業

イカ釣り漁業とは、夜間の操業を基本とし、集魚灯に集まってくるイカをイカ釣り機で釣り上げ漁獲する漁法です。
漁師は、釣り上げたイカをサイズ別に箱詰めし、市場に水揚げします。
イカの種類や季節によって漁場が変わるため、群れに合わせ追って漁獲します。



主な就業形態	操業パターン	漁期
乗組員として雇用 ※個人経営者が経営しています。	漁場に合わせ、全国の漁港に水揚げを行うため、日帰り操業する場合もあれば、長期で出漁する場合もあります。	6～12月

漁法のイラストは実際とは異なる場合があります。

大船渡市の漁師が営んでいる漁業



目指す経営の姿（養殖漁業） 市内で主に養殖漁業で生計を立てている専業漁家を抽出し、組合せの多かった漁業種の平均収入と経費について整理しました。
(平成28年度実施 漁業就業者の確保・育成に関わるアンケート調査結果より抽出)

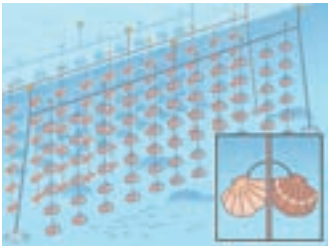
ワカメ養殖+その他の漁業	平均収入／ 526万円	平均経費率30%
カキ養殖+その他の漁業	平均収入／ 924万円	平均経費率30%
ワカメ養殖+ホタテガイ養殖+その他の漁業	平均収入／ 1,123万円	平均経費率30%
ワカメ養殖+ホヤ養殖+その他の漁業	平均収入／ 738万円	平均経費率30%
ホタテガイ養殖+その他の漁業	平均収入／ 1,157万円	平均経費率30%

※その他の漁業とは、主に採介藻漁業が該当します。そのほか、刺網漁業やかご漁業、釣り漁業、小型定置網漁業、ホヤ・コンブ養殖漁業が該当します。

養殖漁業は個人漁業者が経営しています。(家族経営が主流)

5 ホタテガイ養殖業

ホタテガイは、2～3年かけて育て、年間通して収穫できます。
作業の大部分を占めるのは出荷作業ですが、ホタテガイを垂下させるための耳吊り作業や貝殻の付着物の除去作業なども行う必要があります。



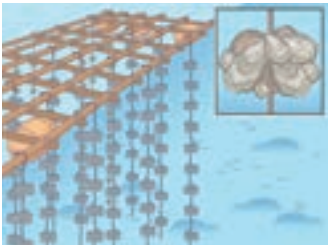
主な就業形態	操業パターン
雇用（弟子入り）	日帰り

年間操業サイクル

春	夏	秋	冬
幼生調査、採苗	稚貝養成	分散	稚貝養成
稚貝養成	本養成(耳吊り、付着物の除去などの養成管理)	出荷	

6 カキ養殖業

カキは、ホタテガイと同様に、2～3年育て収穫します。出荷形態は、むき身と殻付きの2種類あり、10～2月頃まで水揚げ作業により繁忙期が続きます。(※殻付きカキは通年出荷します。)
ほかに、カキに栄養を行き渡らせるため、貝殻の付着物を死滅させる温湯処理(おんとうしょり)を行う必要があります。



主な就業形態	操業パターン
雇用（弟子入り）	日帰り

年間操業サイクル

春	夏	秋	冬
		稚貝養成	
本養成分散	本養成(2年目から出荷)		

7 ワカメ養殖業

ワカメは、1年のサイクルで収穫が行われます。
収穫作業以外には、収穫前の秋からワカメの種をロープにはさむ作業を行うほか、間引き、出荷用に加工する作業を行います。
岩手県は養殖ワカメの生産量が全国第1位で、大船渡市は特にワカメ養殖が盛んな地域です。



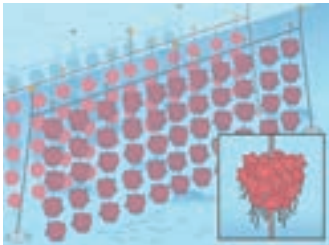
主な就業形態	操業パターン
雇用（弟子入り）	日帰り

年間操業サイクル

春	夏	秋	冬
収穫		採苗、海中培養	巻付
			養成管理

8 ホヤ養殖業

ホヤは、その姿形から「海のパイナップル」とも称され、大船渡市でも独特の風味が親しまれており、県内1位の生産量を誇ります。養殖期間は、ホタテガイやカキ養殖に比べて長く、3～4年で収穫します。
収穫作業以外には、種ホヤを分散し、海に垂らす作業を行います。



主な就業形態	操業パターン
雇用（弟子入り）	日帰り

年間操業サイクル

春	夏	秋	冬
沖出し		本養成(3～4年目から出荷)	採苗

※そのほか、大船渡市では、底びき網漁業、刺網漁業、かご漁業、磯建網漁業、採介藻漁業などが営まれています。

漁法のイラストは実際とは異なる場合があります。

岡澤慶樹さん 33歳

漁師歴：1年

漁業種：ホタテガイ養殖、

ワカメ養殖

目標：父を超える漁師になること



自衛官から転身 父の跡を継ぎ漁師の世界へ

高校卒業後は、すぐに自衛官として働き始めたという岡澤さん。当時は父親の跡を継いで漁師になるという考えはなく、陸上自衛隊に所属して任務を全うする日々を送っていました。しかし、年を追うごとに漁師として奮闘する父を助けたいと思うようになり、15年間務めた自衛隊を退職。実家に戻り漁師への道を歩み始めました。

「自衛官も漁師も、どちらも体力仕事であることに変わりはありません」とたくましく語る岡澤さんの唯一の弱点といえば、船酔い。漁師になってすぐの頃は、酔い止めの薬が手放せなかったそうです。1年経った今でも薬は飲むものの、だいぶ慣れたと岡澤さんは笑います。

そんな岡澤さんの1日は、真夜中の1時半頃からスタート。皆さんの食卓に新鮮な状態で届くよう、漁師の朝は早いのです。大船渡市は耳吊り方式で行われるホタテガイ養殖の発祥の地でもあります。ここで獲れるホタテガイは肉厚で大きな貝柱が特徴です。養殖場で成長したホタテガイを船に積み込み、出荷の準備のため、港に戻って貝殻についた付着物などをきれいに落とします。時期によってはウニやアワビ漁も行います。

休日には野球をしったり走ったりと、とにかく体を動かすことが好きだという岡澤さん。将来的には父親を超える漁師になりたいという目標を持ち、今日も漁に出ています。

漁師を目指す人へメッセージ

「やればやった分だけ自分に返ってくる。それが漁師という仕事の最大の魅力です。海が好きな人にとっては最高の職場だと思います」



26歳 高橋典子さん

漁師歴：1年

漁業種：漁船漁業

(サンマ、タラ、イサダほか)

目標：早く一人前の漁師になること



綾里で結婚して子どもを育て 浜のおばあちゃんになるのが夢

漁師を目指す人へメッセージ

「漁師は大変というイメージがあるかもしれないけれど、まずは船に乗ってみるのがいいと思います。そうすれば船の楽しさを実感することができますよ」



左：船頭さん

花巻市出身で元岩手県職員の高橋さんが大船渡市を訪れたのは、2014年のこと。仕事で大船渡地域振興センターに赴任したのがきっかけでした。綾里地区で出会った地元漁師の話しに魅了され、休日のたびに綾里に通ってはホタテガイやホヤの養殖を手伝ったり、定置網の船に乗せてもらったりしていたそうです。それは県庁本庁舎へ異動になってからも変わらず、週末のたびに綾里を訪れては浜への思いを強くしていきました。

「この浜で、漁師として生きていきたい」県職員になって4年目。ついに高橋さんは転職を決意し、漁師への道を踏み出します。その決断に不安はなかったかと聞くと「自分で決めた道なので、不安や迷いはありませんでした」と、きっぱりとした答えが返ってきました。そして「体力的に苦しい時はあるけれど、仕事は楽しいことばかり。まるで家族みたいな先輩漁師に支えられて日々勉強しています」と笑顔を見せる高橋さん。まだまだ覚えることは多く時に厳しい指導を受けながらも、毎日のように船の上を走り回って働いているそうです。同じ船でともに働く先輩漁師たちも「やる気があって教えたことに対する飲み込みも早い」と信頼を寄せています。

そんな彼女が仕事でやりがいを感じる瞬間は、自分に与えられた仕事を怪我なくこなし、大漁で無事に帰港した時だといいます。目標は、早く一人前の漁師になること。そして将来は綾里で結婚して子どもを育て、浜一番のおばあちゃん漁師になりたいと語ります。最近では漁師になりたいという女性も増えているため、高橋さんが憧れの存在になる日も近いかもしれません。

滝田明仁さん

41歳

漁師歴：1年

漁業種：ワカメ養殖

目 標：一人前の漁師になって

若い人たちが挑戦できる

環境を作りたい



挑戦せずに諦めるよりも
まずはやってみることが大切

「自分が漁師をやるなんて思ってもいませんでした」と言って笑う滝田さんは、アクションスターに憧れて役者の道を志していました。東京で稽古に明け暮れ、スタントマンや殺陣師として活躍した日々。その激しい動きに腰を痛めてしまい休業せざるを得ませんでしたが、今でも役者仲間から度々舞台に誘われるそうです。

生まれ故郷に戻り漁師の道に踏み出したきっかけは、東日本大震災でした。あの出来事によって故郷や漁師に対する考え方が変わり、祖父が営んでいたワカメの養殖を自分の手で再開しようと一念発起。親戚や近所の漁師仲間の手を借りて、船や道具などを調達する所からスタートしました。最初の1年は漁師見習いとして基本的なことを学び、2年目となる今年から本格的な漁師生活が始まります。

「今はまだ覚えることが多くて大変ですが、それはどんな仕事でも同じこと。早く一人前の漁師になって、ワカメの収穫量を上げることが目標です」と語る滝田さんは、役者への道も諦めてはいないと言います。やりたい事をやり切るために、まずは目の前のことを一生懸命取り組みたい。その思いが、未経験で漁師の世界へ飛び込んだ滝田さんの原動力になっているようです。

「将来的には漁師と役者を両立したいし、若い人たちが漁師の世界に飛び込みやすい環境づくりもしていきたいと思っています」そう言って海を眺める滝田さんの夢は、まだまだ尽きることを知りません。

漁師を目指す人へメッセージ

「世の中には、やってみなくちゃわからないことがたくさんあります。漁師に興味があってやりたいと思うなら、まずは挑戦してみることが大切だと思います」



25歳

小坪竜大さん

漁師歴：4年

漁業種：定置網漁業

ホタテガイ養殖、ワカメ養殖

目 標：父のような漁師になること



家族で力を合わせて
この浜で海とともに生きる

漁師を始めて4年目の小坪さんは、1年の大半は主に吉浜漁業協同組合の定置網漁に従事しています。

定置網漁がある日は明け方の3時頃に起きて船に乗り込み、海へと出港します。漁場に仕掛けた網を漁師仲間とともに引き揚げ、午前中には帰港します。

「大漁の時には大漁旗を掲げてソーラン節を流しながら帰ります。この時が一番やりがいを感じる瞬間ですね」と、楽しそうに語る小坪さん。どの地域でも若い漁師は不足していて、この吉浜地区でも20代の漁師は彼を含めて3人のみという貴重な存在です。仕事で辛いことはないかと聞くと「大変なことは特にはないです。頑張った分だけ返ってくるので、やりがいの大きい仕事だと思います」と頼もしい答えが返ってきました。

定置網漁の休漁となる2～3月は、家業を手伝っています。祖父と祖母、そして両親と阿吽(あうん)の呼吸で作業に取り組む姿はすでに頼もしい後継者です。

家族や仲間とともに海で暮らす毎日。小坪さんの笑顔が、その充実した時間を物語っていました。

漁師を目指す人へメッセージ

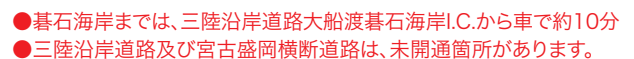
「祖父母と両親はもちろん、一緒に漁に出る仲間たちも家族のような存在です。みんながいるから頑張れる。そんな絆を感じられるのも、漁師ならではの良さだと思います」



水産のまち
大船渡

〒022-8501 岩手県大船渡市盛町字宇津野沢15
TEL : 0192-27-3111 FAX : 0192-27-6780

アクセス



平泉駅 約8分
東北本線
仙台駅 約1時間30分
一ノ関駅
大船渡線 約1時間20分
気仙沼駅
BRT 約1時間20分
盛駅